

さっぽろっ子 ICT活用のススメ



1人1台端末を授業と家庭学習のかけ橋に

「学ぶ力」を育成するために1人1台端末を活用します。子どもが自ら考え、理解し、深い学びへとつなげていけるよう、学校で、家庭で、適切かつ効果的な端末の活用を促していきましょう。

「学ぶ力」の育成

「課題探究的な学習」

の推進

対面の授業を中心としながら、端末を有効活用し、仲間との学び合いも取り入れた、一人一人に適した学習を進めます。

「情報活用能力」

の育成

端末の活用を通して、情報を適切に収集・整理・分析・発信できるようになる力を育みます。

協働的な学び

個別最適な学び

主体的な
学び

家庭での運動習慣づくりによる「健やかな体」の育成にも生かれます。

登校できない場合でも先生や友達とつながることで「豊かな心」の育成にも生かれます。

ICT活用のまほうのかわいで

学校と家庭のつながりを大切に、互いが同じ目線に立って連携・協働しながら、子どもを見守り、育みます。

SAPPORO

札幌市教育委員会



さっぽろ市
02-S02-21-2316
R3-2-1461

ICT活用の まほうのかいわ

ICT活用も習慣づくりが大切です

ICTを活用した学習が、多様な他者と協働しながら考えを深める学びや、子どもにとって自分にふさわしい学びとなっているかどうか、家庭で話題にしてみましょう。

使用時間など健康に配慮した使い方や、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度（情報モラル）を身に付けられるよう、子どもと話し合しましょう。

端末を活用した学びの記録を子どもと一緒に振り返りながら、伸びを認めるとともに、つまづいているところがあれば、どのように改善を図っていくのか、一緒に考えましょう。

必要な情報を幅広く集め、分析したり、意見の即時共有を図ったりするなど、ICTの特性や強みを生かすことで、子どもが疑問や課題を自ら解決していけるよう促しましょう。

ICTを活用して、子どもが試行錯誤しながら粘り強く取り組み、「分かる・できる・楽しい」学びにつなげていけるよう、学校と家庭の連携・協働を深めていきましょう。

家庭

ま 学びにつなげる

ほう 方法を考える

の 残して振り返る

かい 解決する

わ 分かる・できる・楽しい

大切な5つのポイント

学校

協働的な学びと
個別最適な学びの充実

安心・安全で
効果的な活用

自己調整に生かす
学習履歴

ICTの
特性や強みを生かす

主体的に学習に
取り組む態度の育成

学校では主にこんな端末を使用しています。

クロームブック
機種名：Chromebook
OS名：Google chromeOS端末

CPU：Intel(R)Celeron(R)
N4020CPU@110GHz

メモリ：4GB
画面サイズ：11.6型
キーボード：有



年度初めに、学校から
配付される書類等は
保護者と子どもが一
緒に確認をしましょう。

端末を家庭に持ち帰って
の活用も行います。ネット
ワーク環境の整備等の確
認をしていきましょう。

札幌市ホームページにも掲載しています。
「ICTを活用した教育の推進」

- 1人1台端末活用のガイドライン【札幌市版】
- 1人1台端末活用リーフレット
- 1人1台端末活用の基本的なルール
- アカウント、端末を安心・安全に使うためのチェックポイント（確認書）
- 札幌市立小中学校等における情報端末貸与規程
- 札幌市立小中学校等端末貸与申請兼同意書
- 家庭のWi-Fiに接続する方法
- GIGAスクール通信

